



“スギ花粉の少ない島”

奄美 AMAMI へ

～ 癒しの旅に出かけてみませんか～



≫≫ 『花粉症』に悩んでいる方へ朗報！ ≪≪
～ 奄美の効果検証インフォメーション ～

- ▶▶▶ 奄美群島には天然のスギ・ヒノキは自生しません！
(杉は、気候上、雄花をつける(花粉が発生する)段階まで木が育ちません。)
- ▶▶▶ 花粉症に繋がる草本植生もほとんどありません！
- ▶▶▶ スギ、ヒノキの人工林はありますが、全国に比べると極めて少ないです！
- ▶▶▶ 2月～3月の花粉の実測調査から、スギ、ヒノキの花粉の飛散は確認されませんでした！
- ▶▶▶ 奄美群島以外での居住経験がない人で、病院で花粉症と診断された人はいません！
- ▶▶▶ モニターツアー参加者(花粉症患者)全員に症状の改善が見られ、旅行期間が経つにつれ花粉症の症状が緩和されました！



(参考資料)

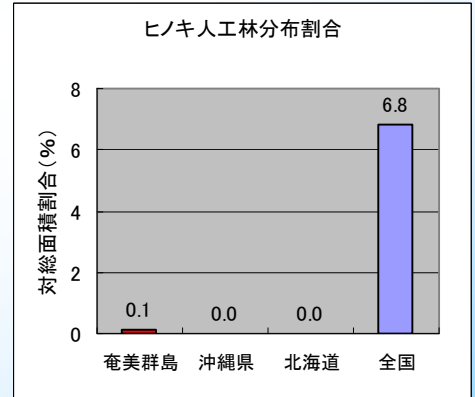
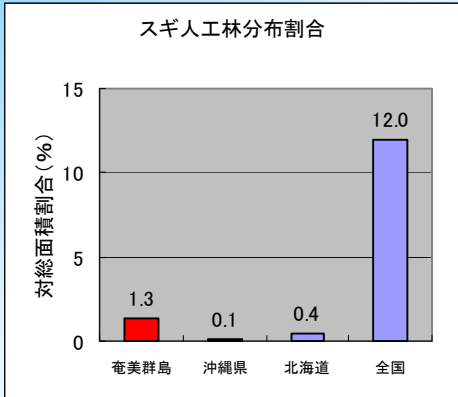
- ・『奄美群島における杉花粉等の飛散状況と活性化に関する調査報告書』(平成18年3月 国土交通省都市・地域整備局)
- ・『長寿・健康・癒しのマーケティング事業報告書』(平成20年3月 鹿児島県保健福祉部)

>>> データで見る“スギ花粉の少ない島”奄美 <<<

★スギ・ヒノキの人工林の割合は極めて少ないです。

★人口に占める花粉症患者数の割合は大都市圏と比較して極めて少ないです。

★全国で最も飛散する時期での観測結果、スギ・ヒノキの花粉は全く観測されませんでした。



【同時期の花粉飛散量の比較】

(単位: 個/cm ³ ・日)	スギ	ヒノキ
東京都千代田区	23.1	0.0
大阪府大阪市	18.2	8.2
奄美市(旧名瀬市)	0.0	0.0

※調査期間: H18/2月中旬～3月中旬

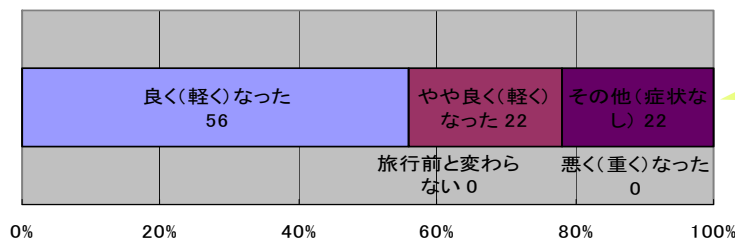
【人口に占める花粉症患者数の割合】

	奄美	東京	大阪	沖縄
人口(千人)	126	12,571	8,817	1,361
患者割合%	1.3	20.4	14.9	0.6

>>> モニターツアー実証結果 <<<



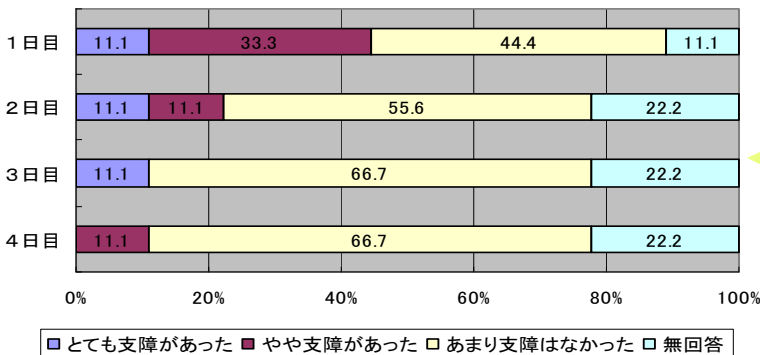
<滞在中の花粉症の症状変化>



滞在中、全ての参加者について症状が改善！

医師の問診結果、花粉症の改善効果を確認！

<花粉症による日常生活への支障>



滞在日数が経つにつれ、支障がある人の割合は減少、あまり支障がない人の割合は増加！
期間経過に伴い花粉症の症状が緩和！

》》 癒しの旅メニュー 《《

～ オンリーワンな“奄美”を五感で体験 『視・聴・香・味・触』～



カヌーで亜熱帯の大自然を満喫してください。



透き通る海と水平線を眺めながらスローな時間を。



奄美には手つかずの自然、亜熱帯の森が残っています。奄美ならではの植物や動物にきっと出会えるはずです。



旧暦8月、主に大島の各集落(シマ)で行われる『八月踊り』。太鼓(チチン)のリズムにあわせ、男女が唄を掛け合い、テンポを上げながら踊り、夜更けまで盛り上ります。シマの文化を是非体験を。



1200年の歴史ある『大島紬』。独特の泥染めや織りを体験できます。



今もなお残る昔ながらの黒糖づくり。自分で作るその味はまた格別です。



大海原を眺めながらの“タラソ”で身も心もリフレッシュ。



旅に欠かすことができないその地の“食”。奄美しか製造が認められていない『黒糖焼酎』片手に島料理を是非ご賞味ください。



スポーツの盛んな奄美。国内外から多くのアスリートも合宿で訪れています。各島々では様々なイベントを開催。地域文化の体験や住民とのふれあいを旅の想い出に。

》》 豊かな自然と美しい海に囲まれた奄美の島々 《《

amamiooshima



大島海峡



渡連海岸



大浜からの夕日

tokunoshima



ムシロ瀬



闘牛

yoron



百合ヶ浜

kikai



キビ畑の1本道



サンゴ石垣

okinoerabu



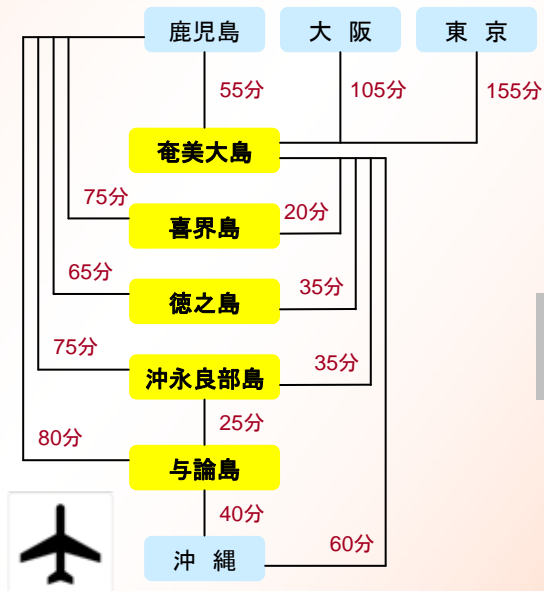
笠石海浜公園



昇竜洞



空



海

